【一般・若手】2024(令和６)年度総合研究所研究計画申請書

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　学部　　　　学科(学系)・系列　職位

学科長(学系長)・系列主任　　　　　　　　　　　　　　㊞

下記の通り、2024(令和６)年度総合研究所研究課題に申請いたします。

**研究課題名**

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **本申請書に係る研究種目(該当部分に○)** |  | **審査希望研究部門(該当部分に○)** |
| １．一般研究課題 | １．エネルギー・環境 |
| ２．生命・医工学 |
| ３．情報 |
| ２．若手研究者・任期付研究者支援研究課題 | ４．基盤工学（電気・機械・ﾒｶﾄﾛﾆｸｽ） |
| ５．基礎科学（社会・人文科学も含む） |
|  |  |

**学外の公的研究費（科研費等）の課題と類似の課題名（申請中含む）の場合、相違点を記載**

|  |
| --- |
|  |

**研究費等申請状況**

過去5年間に申請者本人が研究代表者として申請した総合研究所研究費・公的研究費(科研費等)・民間からの助成金や共同研究費等について採択・不採択を問わず(申請中は”申請中”と記載)記入して下さい。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 研究費名称（申請先）・課題名※課題名も明記してください。 | 採択・不採択の別 | 研究費(千円) | 研究成果（発表論文・特許等） |
|  |  |  |  |  |

研究計画調書

**研究経費**※千円未満の端数は切り捨てる　※アルバイト代の出金は不可。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　度 | 研究経費(千円) | 使用内訳(千円) |
| 備品費 | 用品費 | 消耗品費 | 旅　費交通費 | 謝　金 | その他 |
| 2024(令和6) |  |  |  |  |  |  |  |
| 2025(令和7) |  |  |  |  |  |  |  |
| 総　計 |  |  |  |  |  |  |  |

●若手研究者支援課題の場合、2年目の記入は不要です。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | **備品の明細** | **用品の明細** | **消耗品の明細** |
| 品名・仕様（製造会社・型)(数量×単価)(設置場所) | 金　額(千円) | 品　名 | 金　額(千円) | 品　名 | 金　額(千円) |
| 2024(R6) |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |
| 2025(R7) |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | **旅費・交通費** | **謝　　金** | **その他** |
| 事　項 | 金　額(千円) | 事　項 | 金　額(千円) | 事　項 | 金　額(千円) |
| 2024(R6) |  |  | 例）専門的知識の提供資料提供・閲覧※例は削除してください。 |  | 例）英文等添削代※例は削除してください。 |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |
| 2025(R7) |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

●表と明細の金額が一致していることを確認してください。

**機械装置備品費の割合が70％を超える場合は以下について記載してください。**

・研究計画遂行上必要なその他の費用（消耗品他）の出所

|  |
| --- |
|  |

・採択時に減額され、機械装置備品の購入が不可能となった場合の対応

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| **研究組織（研究代表者及び共同研究者）**◎共同研究者は、本研究計画に常時参加する研究者とします。◎研究組織に記載された大学院生・進学予定の学部4年生に限り、共同研究者と認めます。大学院生については、課題　採択後に提出の実施計画書にて最終確認します。なお、大学院修了による共同研究者の変更も届出により認めます。◎エフォート欄には、研究者毎の年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間　の配分率（％）を記入してください◎分担率には、申請課題における各研究者の分担率を記入してください。（合計で100％になるように記入） |
| 氏　　名 (年齢) | 学部学科・職位 | 現在の専門 | 学位 | 役　割　分　担（研究実施計画に対する分担事項） | エフォート(％) | 分担率(％) |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 合計　　　名（うち他機関の共同研究者数　　　名） |

**研究目的、研究方法など**

|  |
| --- |
| 本研究の目的と方法などについて、４頁以内で記述すること。冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5)本研究の目的を達成するための準備状況、について具体的かつ明確に記述すること。本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。 |

**（概要）**

**（本文）**

*※留意事項：*

1. *本文全体は１１ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。*
2. *各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。*
3. *指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。*
4. *本留意事項（斜体の文章）は、研究計画調書の作成時には削除すること。*

【研究目的、研究方法など(つづき)】

【研究目的、研究方法など(つづき)】

【研究目的、研究方法など(つづき)】

**◆ 特許・実用新案申請（取得）の可能性、また見込について記載して下さい。**

 **応募者の研究遂行能力及び研究環境**

本欄には応募者（研究代表者、共同研究者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について２頁以内で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

*※留意事項：*

1. *研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等））は、網羅的に記載するのではなく、本研*

*究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。*

1. *研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること*

*（例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、*

*著書の場合はその書誌情報など）。*

1. *論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。*

【応募者の研究遂行能力及び研究環境(つづき)】

  **人権の保護及び法令等の遵守への対応**

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、１頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。